

(様式13)

電気関係事故報告

1. 件名：

発生した電気事故を次の要領により記載する。

① 感電死傷事故

作業者（又は公衆）感電死亡（又は負傷）事故

② 感電以外の死傷事故

この内容を表す件名を簡潔に記載する

③ 電気火災事故

電気火災事故

④ 公共の財産に被害を与え、公共施設の使用を不可能にした事故又は社会的に影響を及ぼした事故

この内容を表す件名を簡潔に記載する

⑤ 主要電気工作物破損事故

〇〇発（変）電所（〇〇装置：主要電気工作物の名称）破損事故

⑥ 自家用電気工作物から電気事業者に供給支障を発生させた事故（波及事故）

〇〇電力会社〇〇変電所〇〇配電線への波及事故

2. 報告事業者

1) 事業者名（電気工作物の設置者名）：〇〇株式会社

2) 住所：〇〇県〇〇市〇丁目〇番地〇号

3. 発生日時：〇年〇月〇日 〇時〇分（事故発生を知ったとき：〇年〇月〇日 〇時〇分）

4. 事故発生の電気工作物（設置場所、使用電圧）：

事故発生の電気工作物の名称及び使用電圧、同電気工作物が設置してある事業場の名称及び所在地を記載する。

（電気工作物の名称 〇〇〇〇）

（設置場所 〇〇株式会社〇〇工場、〇〇県〇〇市〇丁目〇番地〇号、

使用電圧 〇〇V（発電所の場合：発電所総出力〇〇kW、事故発生の電気工作物出力〇〇kW））

5. 状況：

① 事故発生前の状況

気象、関係電気工作物の施設状況、保守点検の状況、運転の状況、作業の状況、その他

なお、感電事故の場合には、作業の状況として、作業体制、作業指示状況、被災者の服装、活線作業方法等についても記載する。

② 事故発生の経緯

事故発生、拡大の電氣的及び時間的経緯、保護装置の動作状況、事故連絡及び対応状況、その他

③ 電気工作物の被害の程度、被害の種類及び数量

（種類）破損、折損、倒壊、傾斜、焼損、断線等

(数量) 台数、基数、条数、個数、式、組等

④ 応急措置

⑤ 復旧状況

復旧操作、事故後の処置、その他

6. 原因:

事故発生の原因検討の状況を記載及び別紙原因分類表 1～3 の原因別に従い記載する。

(大分類—小分類)

原因の検討〇〇～〇〇。

7. 被害状況

次の各項のうち事故に関係あるものについて「有」を選択してその内容を記し、関係ないものについては「無」を選択する。

1) 死傷「有」

内容: 被災者の被災程度、入院・加療状況、その他

2) 火災「有」

内容: 火災による焼損状況、その他

3) 供給支障「有」(供給支障電力・供給支障時間を記載)

内容: 供給支障軒数、その他

4) その他(上記以外の他に及ぼした障害)

内容: 被害電気工作物の概要(故障、損傷、破壊等の被害を受けた電気工作物の種類、定格電圧、定格容量、製作年月、製作会社等)、その他

電気工作物の被害箇所について、電気工作物被害箇所分類表に従い記載する。

(例: (火力発電所の場合) ボイラー—管寄せ)

波及事故については事故のパターンとどの電気工作物が被害に遭ったかについて、併せて電気工作物被害箇所分類表に従い記載する。

(例: PAS—二次側、真空遮断器)

8. 復旧日時:

仮復旧と本復旧別に記載し、仮復旧については本復旧予定日時を併記する。

〇年〇月〇日 〇時〇分

9. 防止対策:

事故について検討した結果、同種の事故の再発及び拡大を防止するために実施する対策を具体的に記載する。

〇〇～〇〇。

10. 主任技術者の氏名及び所属

主任技術者の氏名及び所属部課名、役職について記載すること。なお、保安管理業務外部委託承認を受けている場合は、委託先の情報を記載する。

(保安全管理業務外部承認がある場合は、委託先情報) :

外部委託先 ○○○○

11. 電気工作物の設置者の確認: 有・無

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※1 「5. 状況」、「6. 原因」、「7. 被害状況」、「9. 防止対策」等を説明するため、必要に応じて写真、図面、計算書又は死傷事故の場合には医師の診断書等を添付する。

※2 規定用紙1枚に記載できない場合は、2枚にわたって記載するか、又は、別紙に事故の状況等を記載する方法を用いて報告する。